

やひこ 議会だより

183号

平成28年10月24日

弥彦村議会

〒959 0392 新潟県西蒲原郡弥彦村矢作
TEL (0256)94 3131(代)
TEL (0256)94 1028(直通)
FAX (0256)94 3216
<http://www.vill.yahiko.niigata.jp>
Eメール:gikai@vill.yahiko.niigata.jp



小学校田稲刈りにチャレンジ

9
月
定
例
会

交通安全対策ゾーン30(総括質疑)…………… P3~5

子ども110番の家は(決算審査)…………… P6~8

健康増進に万歩計貸与(委員会)…………… P9~11

全国紅葉ランキング上位の弥彦公園(弥生さん)…… P12

7名の一般質問…………… P13~19

行政視察報告・あとがき…………… P20

9月定例会

9月6日
～
16日

平成28年第6回9月定例会は、9月6日から16日までの11日間の会期で開かれました。村長から提案された、平成27年度一般会計及び特別会計

企業会計の決算認定8件、条例制定1件、条例改正1件、平成28年度一般会計及び特別会計の補正予算5件、人事案件2案件、その他2件、計19

議案を慎重に審議し、平成28年度競輪事業特別会計補正予算を修正、個別外部監査に関する2件を否決し、その他16件は、いずれも原案どおり全会一致で可決、認定しました。また、最終日の16日に追加提案された「おもてなし広場

農産物直売所建設工事請負契約の締結について」は、賛成多数で可決しました。「学費と教育条件の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求め意見書」の採択に関する

件つ意見書を全会一致で可決しました。一般質問では、7人の議員が、木質バイオマス発電、おもてなし広場、ハザードマップの改訂、選挙公約、地域包括ケアシステムなど、村政に対する質問を行いました。

9月定例会で決まったこと

平成28年度補正予算

一般会計

1億1273万4000円を追加し、総額を39億5300万6000円とする。

歳入の主なもの

・地方交付税 636万円

・国庫補助金

総務費 518万円

農林水産業費 212万円

・県補助金

民生費 3759万円

農林水産業費 1392万円

歳出の主なもの

・総務費

財産管理費

企画費

・民生費

高齢者福祉費

障害福祉費

・農林水産業費

農業振興費

農地費

・教育費

総合文化会館費

・繰越金

・村債

5820万円

430万円

国民健康保険特別会計

3913万2000円を追加し、

総額を10億104万8000円とする。

後期高齢者医療特別会計

375000円を追加し、総額

を7187万5000円とする。

介護保険特別会計

5417万1000円を追加し、

総額を8億9217万1000円とする。

競輪事業特別会計

3億1525万8000円を追加し、

総額を110億7525万

8000円とする。

条例の一部改正

村税条例（軽自動車税額の改正及び医薬品購入費控除等の改正）

条例制定

弥彦村小規模企業の振興に関する条例

教育委員会教育長の任命

はやし

林 順一 さん（新潟市）

の任命に同意しました。

任期は本年10月5日から平成31年10月

5日までとなります。

教育委員会委員の任命

いがらし

五十嵐 ゆかり さん（弥彦）

の任命に同意しました。

任期は本年10月5日から平成32年10月

5日までとなります。

質疑 総括

9月9日

条例

村税医薬品購入費控除

安達議員 特定一般医療品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例とは。

税務課長 現行の医療費控除は、自己負担額が10万円を超えない場合に対象外であったが、平成30年から医薬品対価の合計が1万2000円を超えるときは、その超える部分の金額、上限8万8000円についてその年の総所得金額から控除するもの。



新潟市内のゾーン30

一般会計 補正予算

交通安全対策ゾーン30

安達議員 ゾーン30とは、その区域内では30km以内で走行するという内容だと思いが、その工事の内容は。

総務課長 歩行者等の安全な通行を確保することを目的と

白文字で道路標示を行う。県道から中学校の陸上競技場マラソンゲート手前まで路側帯を歩行者用カラーリング舗装を行う予定。

きのこ王国支援事業

安達議員 きのこ王国支援事業補助金で金属探知機購入との説明があつたが使用方法は農業振興課長 金属探知機はベルト式の金属探知機を予定し、出荷時における異物検査に使用する。

コンテナ単位での検査が可能となり、異物の混入を未然に防止することができ、品質の高位安定、出荷作業の効率化を図り、安心安全なシタケを出荷することができるもの。

補助金の追加補正

安達議員 今年度当初予算で一部の負担金及び補助金が廃

止あるいは縮減がなされたが、補正予算で一部復活案が計上されたことはとても喜んでい

る。しかし、厳しい財政状況であるが、12月補正または3月補正でできるだけ縮減や廃止がなされた補助金について、追加補正を願いたいと思うが、総務課長 今回の補正は、団体利用者から要望等を受け、村の補助金に対し、使途が明確確ということ、効果がある

と判断したものにに対し、商工会、スポーツ少年団、住宅リフォーム、ボーイスカウト、村指定文化財保存会などを計上した。今後も同様に要望があつた場合、内容をよく精査した上で、財政状況も考慮しながら対応して行きたい。

競輪事業個別外部監査

安達議員 去る8月25日付で要請があった競輪事業会計の外部監査について、回答書を小田代表監査委員と私が連名で提出したが、その回答の結果から今後の考えは。

総務課長 6月議会では否決という結果でしたが、改めて提案した。6月議会での議論を踏まえ、調査対象期間を前回は6力年であったが、今回は3力年で、期間を短縮して800万円に委託料を削減して提案した。

議会への議案提出に当たり、全員協議会で説明を行った。手続として監査委員の意見が提出されて、前回の監査委員の意見とは異なる視点の意見の回答があった。

今回、調査の考え方としては費用対効果よりも調査の範囲は広いと考えており、費用対効果を広義に捉えれば今回の監査委員の意見に含まれる

ものと考えている、監査委員の意見を考慮したなかで議論を願いたい。

村公共施設等の
状況把握

板倉議員 総務費財産管理費の500万円の委託料についての詳細は。

総務課長 公共施設等の全体の状況を把握し、今後弥彦村の公共事業等の管理の基本的

な方針を定めることが内容。

柏木議員 村にも財産台帳がある、補助金500万円を使い、新たに作成する必要があるのか。

総務課長 国から作成が求められる、公共施設等総合管理計画を作成する。

健康寿命増進

板倉議員 元気な高齢者に万歩計を配布し、1カ月続けら

れたら500円のクオカードを進呈する内容について。

福祉保健課長 日常生活で万歩計が7000歩を表示した場合に、1マス塗りつぶし、30日継続して達成できたときに、500円のクオカードを進呈するもの。

9月25日の広報で周知し、10月1日スタートの予定。

文化会館改修内容は

板倉議員 文化会館前の登り階段のタイル補修・汚れ落としと、エレベーターの修理について、いつから工事を始めるのか。

教育課長 年内でやりたい。併せて80力所のタイル補修も含んでいる。

板倉議員 文化会館存続についての検討委員会は、会館そのものを協議するのか。

教育課長 存続については今後の検討になるが、公民館部分はすぐ閉鎖する事はないの

で、階段エレベーター等の修理はしたい。

弥彦村住民のみ
利用可能

柏木議員 小規模型多機能型サービスを29年度から実施するが、場所・規模・職員体制は。

福祉保健課長 桜井の里敷地内、登録人員29名、建物面積300㎡、職員7名及び臨時職員である。利用者は要支援・要介護全ての方が利用できる。利用者は弥彦村住民のみである。

赤川議員 登録人員が29名で、弥彦村民の方が全部対象になるのか。

福祉保健課長 地域密着型施設になるので基本的に弥彦村の住民である。



傷んでいる文化会館階段

小規模企業振興に

関する

基本条例の制定

他市町村の後追いでは

柏木議員 従業員25人以下・商業サービス5人以下の小規模事業者の団体に施策を村の責務として作成される。商工会と制定をするにあたり協議を行ったのか。

観光商工課長 協議を行った。基本的な施策はこれからである。

柏木議員 補正予算で指導員の賃金補正が計上されている。保育士・介護士賃金が低いと人材不足になるのではないかと総務課長 臨時職員を募集してもなかなか集まらない。実態を把握し、庁内で情報交換をして対応したい。

追加提案の採決

9月16日

9月定例会最終日に提案された
「おもてなし広場農産物直売所建設工事請負契約の締結について」は、賛成多数で可決しました。

主な質疑事項

田中議員 直売所は村設民営で行なわれる訳で、民間

事業所と言って説明逃れせず、事業内容を開示して頂きたい。今後は事前に情報を提供していただき、議会と事前協議を重ねて事業を進めてほしい。

村長 今後は議会に、情報をできるだけ開示し、意思疎通を図りながらやっていきたい。

9月定例会議決結果

議案	本多(啓)	板倉	田中	柏木	安達	本多(隆)	小熊	花井	赤川	採決結果
平成27年度一般会計決算認定										可決
平成27年度国民健康保険特別会計決算認定										可決
平成27年度後期高齢者医療特別会計決算認定										可決
平成27年度介護保険特別会計決算認定										可決
平成27年度競輪事業特別会計決算認定										可決
平成27年度温泉事業特別会計決算認定										可決
平成27年度水道事業会計決算認定										可決
平成27年度下水道事業会計決算認定										可決
村税条例の一部改正										可決
小規模企業の振興に関する基本条例										可決
平成27年度一般会計補正予算(第3号)										可決
平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)										可決
平成28年度介護保険特別会計補正予算(第1号)										可決
平成28年度競輪事業特別会計補正予算(第1号)修正案								×		可決
平成28年度競輪事業特別会計補正予算(第1号)修正部分を除く原案										可決
教育長の任命										可決
教育委員の任命										可決
個別外部監査契約に基づく監査によることについて	×		×		×	×	×		×	否決
個別外部監査契約の締結について	×		×		×	×	×		×	否決
「学費と教育条件の公私間格差は正しいむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書」の採択に関する請願										可決
おもてなし広場農産物直売所建設工事請負契約の締結	×					×				可決

平成27年度 会計決算認定

()内は前年度決算額

一般会計歳出決算額

37億9,600万円
(37億3,332万円)

国民健康保険特別会計歳出決算額

9億3,402万円
(8億6,954万円)

後期高齢者医療特別会計歳出決算額

6,124万円
(6,260万円)

介護保険特別会計歳出決算額

7億6,144万円
(7億7,714万円)

競輪事業特別会計歳出決算額

156億5,555万円
(141億3,873万円)

温泉事業特別会計歳出決算額

2,537万円
(2,475万円)

水道事業会計：収益的収支

総費用 2億 577万円
(2億 161万円)

当年度純利益 1,089万円
(1,392万円)

下水道事業会計：収益的収支

総費用 4億7,067万円
(5億8,002万円)

当年度純利益 4,029万円
(1,044万円)

決算の内容は、広報やひこ10月号
(9月25日発行)をご覧ください。

決算 審査

9月14日

平成27年度の一般会計・特別会計及び企業会計、計8会計の決算が、小田茂達・安達丈夫両監査委員の審査意見書を添えて提出され、9月14日の本会議で慎重に審査を行い、決算は妥当なものと全会一致で認定しました。

以下、主な質疑と答弁は次のとおりです。

一般会計

公用車リース料

田中議員 公用車リース料、メンテナンス料、保険料を含め833万円程の歳出がある。公用車は何台あるのか。

総務課長 村管理台数は、保有14台・リース13台の27台である。他に5台の貸し出し車両がある。車両以外で、除雪機械が6台ある。

行政事務調査について

本多(隆)議員 委託料300万円の委託先は。どのような目的、内容でされているのか。

総務課長 委託先は東京の(有)クセノポンという会社に委託し、予算、決算、出納、条例規則制定、行政事務全般に関する調査委託している。

フラワーロード



四季折々の草花で目を楽しませてくれるフラワーロード

小熊議員 内容と委託場所は、観光振興課長 委託場所は、旧新潟交通から井田ガード付近までの間で花や草の管理である。

柏木議員 看板広告費の設置場所は、また東京駅などにも広告してはどうか。

観光振興課長 燕三条駅看板を広告している。東京方面は高額料金で難しい。

循環バスは全村巡回を

柏木議員 巡回バスで山岸・山崎・平野・荻野・鮎穴集落

は運行がない。運行状況は一
台乗車人員平均6・3人と少
ない。全村巡回出来ないか。
総務課長 実態、要望、意見
等を把握し燕市と協議したい。

保育園の待機児童は

柏木議員 二松保育園が定員
オーバーである。年度途中入
所があると思うが。
福祉保健課長 地域の保護者
の方は近い保育園に入園した
い要望がある。定員オーバー
のところは、他の保育園に回
っていたら対応をお願いし
ている。

一時保育

赤川議員 ひかり保育園の延
長保育は少ないが、一時保育
が昨年より4倍に増加した理
由は。
福祉保健課長 一時保育では
村外の子どもで交流事業とし
て週一回の利用があり増えた。

汲み取り料金
17年据置

斎場建設負担金

柏木議員 燕・弥彦総合事務
組合で前年度に比べ2225
万7000円が減額になって
いるが。
建設企業課長 斎場の建設負
担金が26年度終了したため
減額である。

夏休みプール利用

赤川議員 ビジョンよしだ利
用料1万7200円は、中学
生のプールと思うが、利用状
況と、水泳授業について。
教育課長 プールの代替措置
として夏休みに利用券を配布
として夏休みに利用券を配布
一回400円で43人の利用で
あった。
教育長 中学校学習指導要領
の中に、水泳場の確保が困難
な場合は、扱わないことができ
る。希望者ができるだけ楽
しめるよう学校と相談したい。

価契約をしている。

ただし家庭から徴収してい
る処理手数料は平成11年に1
8・5円に改定以来 17年
据置である。

小学校は

大規模改修必要

柏木議員 小学校の耐震構造工事は終わったが、大規模改修が必要なのか。

教育長 小学校の校舎は30年以上が経過している。屋根改修、増築した接続部分の改修が必要である。また、ICT(注1)教育化でWi-Fi(注2)設置も数年の間で進めたい。中学校ではトイレの洋式化を進めていきたい。

子ども110番の家は

柏木議員 昨年は不審者の遭遇事故、用水路の転落事故が各1件の事案が発生した。以前、不審者対策で通学路を中心に区長会、商店等の協力で児童・生徒が不審者にあった場合、子ども110番の家に駆けこむ事業があったが、教育委員会ではどのような連携を行っているのか。110番

の事業主体は何処なのか。

教育長 平成8年に制度化された、5年おきに見直しを行っている。西蒲警察署の弥彦交番で昨年見直しを行い59件の指定をしている。今年7月に小学校で警察から子ども110番の家に指導がなされた。教育委員会として学校と連携して子どもたちの周知、また、安全マップの改訂版に今取り組んでいる。

時間外勤務手当の増加

本多(啓)議員 総務費の時間外勤務手当が518万円と対前年度と比較して220万円の増額となっている。その原因は。

総務課長 トップが代わり仕事のやり方が変わったこと、国の交付金の申請等に時間を要するため。



書画カメラと電子黒板を活用した授業(弥彦小学校)

本多(啓)議員 職員が夕食弁当を持っていき夜中に帰ってくる。身体が心配だと相談された。乱暴な人事異動が影響しているのではないかと。

総務課長 業務配分等を配慮して、今後対応していく。

生産調整は継続か

本多(啓)議員 生産調整について、村長は、国の減反政策は破綻した政策であり、村としても個人としても一切やる意思はないと明言している。来年度も生産調整はやるのか。村長 それは個人的見解であり、国の政策に添い来年度もやっていく。

入湯税について

板倉議員 331万円の未収金がある。税法上入湯税と一般消費税は別々に徴収となり、お客様の預かりものである。それが未収ということは、

他使用している事も考えられるが。

税務課長 各施設で預かり、役場に納める形になっている。滞納している施設に関しては、他の税金も滞納している部分があり、税金の時効等も考慮して対応している。

婚活事業について

板倉議員 これまで3回ほど取り組みを行なったようだが、その後の追跡調査は行なったのか。結婚の運びまでいければ、村からメッセージを出したら良いと思うが。

福祉保健課長 どなたがカットアウト出来たか、婚姻されたいかは確認できていない。

(注1)ICT教育=学校教育の場に電子黒板、ノートパソコン、タブレット端末などを活用すること。
(注2)Wi-Fi=無線LANを利用したインターネット接続サービスのこと。

付託された条例改正1案件、補正予算1案件は全会一致で可決し、請願1案件を採択しました。

主な質疑事項

28年度補正予算

問 普通交付税減額の理由は。

答 基準財政収入額における固定資産税の償却資産の消滅分が見込みよりも少なかったためである。

問 ボーイスカウト補助金は復活したが、弥彦山太鼓の補助金はどうか。

答 小学校教育振興費の講師等謝礼3万2000円を補正計上し、小学校クラブ指導の講師謝礼として支出したい。

問 企画費の情報セキュリティ強化対策委託料と社会保障・税番号制度システム整備委

託料の詳しい説明を。

答 マイナンバー制度の開始によるもの。パソコン端末における情報漏えい防止を強化するシステム改修費で、ID、パスワードに加え、二要素認証といわれるICカードまたは指紋認証システムの導入が主なものである。

付託案件外

問 ふるさと納税の今現在の実績は。また今後の見通しは。

答 8月末で、3770件、金額で4093万円。昨年の8月末比較で4倍である。12月はお歳暮時期で、昨年



モンゴル国エルデネ村との交流

は7200万円の実績があるので、品揃えを豊富にし、当初予算額1億1000万円をクリアしたい。

問 モンゴル国エルデネ村訪問の成果は。今後も継続か。

答 8月7日から3泊4日の行程で、村長を団長とし、中学生6名、中学校長、総務課長の9名で訪問した。エルデネ村との友好都市協定の締結中学校生徒は、地元の子どもたちと音楽をとおした異文化交流で成果があった。

今後は、近隣市の状況を踏まえ、議会とも相談の上検討したい。

問 小中学生の学力向上の課題は。

答 4月の標準学力テスト、NRTの結果は、小学校では理科と社会に課題はあるが全国レベルである。中学校は過去3年全国平均を下回っていたが、今年は上回った。課題としては、保育園から

小学校、中学校へどうつないでいくか。自分の将来の職業選択のためのキャリア教育の充実。地域と関わり地域で活躍する子どもたちの育成に取り組む、学力だけでなく、応用力・人間力の向上につなげたい。

問 ポータルサイト「さとふる」で伊彌彦米の申込期限が9月30日となっている。現在の申込み状況は。

答 9月2日現在で10kg米で2000口で819件、30kg米が250口で107件の申込みがある。9月30日までは伊彌彦米ふるさと納税協力が出荷し、10月1日以降はJA、第四生産組合等でお荷する。

付託された条例制定1案件、補正予算4案件はそれぞれ全会一致で可決しました。

主な質疑事項

28年度補正予算

問 除雪機械借り上げ料、減額、除雪機械レンタル料増額と対策会議の内容は。

答 除雪委託業者の2台分の借り上げ料と、除雪専用機械のレンタルの組み替え料である。6月に関係者で反省会を実施、今後も除雪会議を予定している。

問 衛生費、健康寿命増進事業費で万歩計の貸与計画とPR方法は。

答 約500人に貸与予定であり、広報や老人会等各団体にPRしていきたい。

問 きのこ王国支援事業費の

補助率と、総事業費。村でも4分の1の上乗せ助成をしては。

答 県の補助率が2分1で総事業費は173万円、村の上乗せ助成はないが農業振興の課題と考えている。

問 自立支援医療給付費で、人工透析者と国保加入者の人数は、また一カ月の医療費はどれくらいか。

答 人工透析者は7名で国保加入者は2名である。自己負担も含めて月額50万円位である。

付託案件外

問 二間口橋から御新田まで除雪はできないか。

答 検討していきたい。

問 誰もいないのにヤホールの電灯がついている。人感センサーを導入しては。

答 暗いと開いているのかわからないためにつけている様子を見て検討したい。

問 モンゴル国エルデネ村を訪問した感想は。モンゴルの子どもたちが来訪した場合の旅費は。

答 トイレが違うので驚いた。他は、子どもたちも好印象を持った。旅費等は、当初予算で検討したい。

問 越後相撲の郷プロジェクト実行委員会で予定の伊勢ヶ濱部屋の夏合宿が、どうも越後に変わった理由と300万円の負担金の支出の仕方は。

答 新潟県全体で相撲振興のために、どうも越後が設立され夏合宿を主催することになった。弥彦でかかった経費を実行委員会に負担金として支払う。

問 夏合宿は観光関係の方々は期待したが、さほど恩恵がなかったという声があった。

答 桜井の里の入所者や小学校の子どもたちは喜んでくれた。観光関係の方々にもっと考えていただきたい。

問 夏合宿の実行委員会に観光関係の方は参加しなかった。

答 今後協力をお願いしたい。

問 おもてなし広場直売所で弥彦さやが提出した損益計算書で年間売上げ額が1億320万円とあるが、達成できると考えているか。また幹線道路に面していない場所での直売所はリスクが大きいと思う。現在契約農家の状況は。

答 弥彦神社に参拝する年間140万人の観光客を誘客していく。観光の中心を神社から駅まで人の流れと賑いをどうするかである。現在農家約50戸と契約済みである。

問 弥彦線100周年記念事業の内容は。

答 お客様に弥彦土産の玉兔を500個配る予定である。JRで、10月16日臨時列車を運行し、記念セレモニーを行い、記念入場券を販売する。また、ヤホール前でB級グルメで盛り上げたい。



60歳以上の希望する村民に貸与する万歩計

付託された28年度補正予算は、個別外部監査予算が削除された修正案が賛成多数で可決となり、修正部分を除く原案（ミッドナイト競輪照明設備工事等）は、全会一致で可決しました。また、個別外部監査契約に関する2案件は、賛成少数で否決となりました。

主な質疑事項

28年度補正予算

修正案及び原案とも質疑はなく、討論に移りました。主な討論の内容は次のとおりです。

修正案に対する反対討論

個別外部監査を実施しないことを前提とした案であるので、反対である。
何もしなければ今後の競輪事業の発展につながらない。

実施すべきである。

中立的な対場からの監査は必要である。

競輪事業は、一般的な商取引とは異なることが多く、政治性の高い内容もある。ミッドナイト競輪を実施できれば、収益は格段に向上することに

なるので、関係者一丸となつて競輪事業に関わることが大切であり、競輪事業の複雑な

収益の仕組みを解き明かすには良い機会であるので、徹底して反対する必要はない。

修正案に対する賛成討論

まず、理事者側がしっかりと把握に努めることが必要であり、800万円をかけて実施する必要はない。

監査委員や競輪特別委員会等、関係者での議論が先である。財政状況が良いとは言えない弥彦村において800万円は高額すぎる。

一般的には、会計の疑義に対して住民からの指摘を受け、実施する性格のものである。村では定期的に監査を実施しており、監査委員の意見書も考慮すると必要ないと考える。

付託案件外

担当所長から、28年度売上状況、28年度下半期開催日程の説明があり、質疑に移りました。

問 ミッドナイト競輪は、インターネット投票のみとなるので、投票方法についてのPRを考えてほしい。

答 特に、高齢者向けにわかりやすいPRを検討する。

問 新潟日報の予想欄について、今後実施の予定は。また、競輪開催告知の充実は。

答 予想広告を取りやめても売上はそれほど落ちていない。今後も、新聞広告については、費用対効果を基本に検討する。



開設66周年を迎えた弥彦競輪

全国紅葉ランキング上位の弥彦公園

弥生さん 今年は天候にも恵まれ、豊作だったようですね。ギカイ君 実りの秋、実感ですかね。

弥生さん ねえねえ、聞いた。中学校の体育祭で珍しい事が

弥生さん そうね。保育園の運動会は、可愛かったね。園児たちの成長は早いよね。

ギカイ君 みんな弥彦の将来を背負ってくれる頼もしい子どもたち。明るい未来を感じ

るね。弥生さん 私の大好きな季節の秋です。

ギカイ君 読書ですか。スポーツですか。それとも食欲。弥生さん 全部そうなんですけど。紅葉の季節が大好き！

毎年名所と言われている所を、あちこち観に行くけど、私は弥彦公園のみみじ谷が一押し。ギカイ君 そうだね。観光客も年々増えているよね。

弥生さん ねえ、知ってる。全国行ってみたい紅葉ランキング東日本の3位に、弥彦公園が選ばれたんだって。

ギカイ君 それはすごいね。弥生さん 観月橋のライトアップは、とても幻想的でステキよね！

ギカイ君 弥彦菊まつりも、もうじき始まります。これからの弥彦も賑わいそうですね。

こんにちは
弥生です

あつたんだって。綱引きで。

ギカイ君 そう、あまりの熱戦であの太い綱がバキーンと大きな音とともに切れ、皆ひっくり返って、ビックリ！

幸いけが人もなく良かった。若い情熱は凄いよ。



ライトアップでさらに美しい弥彦公園もみじ谷





花井温郎議員

滞在型観光地への転換方針と 村長の政治姿勢について

村長 = 地元が立ち上がり
要望してほしい



電線の埋設が望まれる神社前通り

質問 昨年、前大谷村長が滞在型観光地への転換を図るための基本計画策定費600万円の議会承認を得て、八千代エンジニアリング(株)に依頼。その後同社提出の報告書は、小林村長と同じく滞在型観光地の転換目的のもとに策定された報告書ゆえ、その良い点は取り入れ、より優れたおもてなし広場の構想策定のために検討するべきではと申したところ、小林村長は「おもてなし広場という新しい構想を掲げて当選させていただきました。報告書の中にある湯治場構想は、村民はもう良いんだと判断されたとは思っている。議会

でもう一度検討される様な問題ではない」と答弁。報告の内容を取り入れる、取り入れないにしろ、どういった審議を経て言う結論になり、調査費を承認した議会は説明責任があるのではと申し上げたが、話はそれ以上進展しなかった。

他方、小林村長監修、発行とも言われる今年6月25日発行の小林豊彦後援会便りに「今年に入つての議会は到底理解出来るものではないとありません。世間の常識と全く違うからです」とか、「是々非々と言うような言葉は弥彦村議会をみている限り、ていの良い逃げ口上、ごまかし口上です」などの記述があった。しかし、議会は首長と同じく直接村民の選挙によって選ばれた議員で構成されている行政のチエック機関。そうした立場の議会に対する前述の言葉は議会への批判のし過ぎなのでは。こうした一連の事柄は村長に、「唯我独尊、我のみ一人尊し」と言った政治姿勢を感じさせかねません。今後どのような政治姿勢で臨まれるのか。

村長 新しい弥彦村、未来に希望を持てる弥彦村を作るために村長に当選させて頂きました。後援会

便りのことは、私も読んでおりませうけれども、それは後援会の判断でおやりになっていること、私はそれを了解し、ある程度の謝意を表したことは間違いございません。独断と偏見という批判があると言ふことは承知しております。私の公約のガラス張りの村政と言うことでやって参りました。私は行き過ぎがあつたとは重々反省しておりますけれども、弥彦を良くしたいが大前提。滞在型観光にするためには、まず、地元が立ち上がらないと難しい。これまで成功した事例は全て地元の皆さんが、何とかしようということで、実現してきたもの。是非、弥彦村もそういうふうになつてもらいたい。

また、環境整備、例えば、弥彦神社の鳥居の前の通り、電線の地中化等、懸案事項にその後の働きが無かつたもので、実現してませんけれども、5年先を見据えて、地元の皆さんからとにかく要望して、村で動けと言うことをぜひお願いしたい。

木質バイオマスは1年前に 決断できなかったか

村長 = 実現可能と思っていた



田中満男議員

質問 木質バイオマス発電事業計画において、今年度の委託調査料予算、100万円の計上を取りやめたことは評価するが、これまでに至った経緯を伺う。

村長 木質バイオマス発電事業計画は、村長に立候補するにあたり、森林は弥彦村の貴重な資源であり、管理が行き届いていない所が大部分を占める。弥彦山系の木材活用を考え、取り組み課題として挙げた。昨年度に森林資源調査をし、県内木質バイオマス発電施設整備などにより、周辺地域から安定的な木質バイオマス資源供給が見通せないこと。森林所有者との合意形成、林道整備、間伐、搬出コストの問題もある。

質問 木質バイオマスの資源量・県内の木質バイオマス発電事業計画、林道整備などの経費、チップ、ペレットへの加工などの採算性を挙げて、1年以上前から定例議会の度に再考を求めてきた。なぜ、1年前に決断できなかったのか。

村長 時間をかければ、実現可能と思っていた。この件は副村長が詳しいので、検討・判断し最終的な意見が出たら、その判断に従う。副村長 周辺からの調達は難しく

作業道を整備すれば資源量は上昇するが、関係者の合意も必要になり、間伐などに相当のコストもかかり現実的ではない。

質問 再生可能エネルギーに対するこれからの取り組みを伺う。

村長 もみ殻の利用など資源の有効活用、環境保全の観点から、今後の課題として検討したい。

質問 村営施設は数多くあるが、管理・運営をどのように行っているのか。

村長 平時は担当課において、施設利用の予約受付・管理を行っており、夜間、休日は弥彦シルバーク人材センターに委託している。これからは初めて施設を利用する人でも、気軽に利用できるように広



有効利用が望まれる旧役場跡地(弥彦地内)

報誌、ホームページなどに施設の情報や利用事例を載せ、分かりやすく利用できるようにする。

質問 ヤホールは、事業が開催されている時は非常に賑わっているが、それ以外は閑散としている。パンダ焼きを買いに来られた観光客の方が、以前はここに喫茶コーナーがあつて大変便利だった。何故、無くしたのかと聞かれた。

弥彦地区の住民の方からは、ヤホールを事業などで使用していない場合は、多少の使用料を払っても住民の憩いの場、町内会の会議、いきいきサロンなどで使用したい。現在は、旧弥彦保育園で行うが、坂道で年配者は集まりにくい。ヤホールを、何とか有効活用できないかとの要望も多く出ている。

村長 営業目的、有料コンサートとかはあるていどの料金を頂く。住民が、いきいきサロン、会議などを行う場合は拒否する理由もなく早急に検討する。

質問 村有資産の未使用不動産の有効活用は、競売は考えているか。

村長 競売をしたほうがいいのか、村として何かに使ったほうがいいのか、所有地別に、検討したい。



柏木文男議員

ハザードマップに地震情報を

村長 = 地震情報を掲載したい



10月2日に実施された防災訓練

質問 国は、洪水・土砂災害ハザードマップを市町村に義務づけた。今年見直しが行われ、大河津分水路の洪水浸水想定区域図が公表された。降雨は、信濃川流域の2日間総雨量331mm。村の浸水区域の最大浸水深は井田・山岸・山崎・矢作・美山・川崎地区で最大5m未満、浸水継続時間は井田・山岸は一週間未満、矢作・美山・川崎は2週間未満の浸水が想定される、公共施設は一階建の建物の再考が必要である。

大きな地震が日本各地で発生しているがハザードマップには地震情報が掲載されていない。

今年も、熊本県に震度7以上の地震で人命がたくさん亡くなり、家屋の倒壊が発生した。熊本市は東日本大震災後に防災マニュアルを作成、今後30年以内にM7.6程度の地震が起きる確率を、極めて低いと掲載している。

県内の地震は新潟地震、中越地震が発生している。弥彦村を縦断する活断層がある、新潟沖合から角田山・弥彦村をとり長岡の西縁にある活断層である。

長岡平野西縁断層帯は、新潟沖合から長さは約83kmで、断層の西側が東側に対して隆起する逆断層である。

今後30年の間に地震が発生する活断層の中ではやや高いグループに属している。地震の規模はM8.0程度と推定され、大災害の発生が予想される。

普段から防災知識の普及、学校教育等における防災教育・訓練、企業における防災知識の普及が大切ではないか。

洪水ハザードマップの作成時に、弥彦村にも活断層がある。今後いつ起きるか不明であるが、ハザードマップに地震情報として掲載出来ないか。

村長 平成27年水防法改正により最大規模の降雨に変更し、見直しを行った。

村として土砂災害・洪水ハザードマップの改定に取り組んでいる。氾濫の危険箇所や、避難場所について正確な情報を知ることが重要である。

ハザードマップは災害時に迅速・的確に避難を実施し得るとともに、二次災害発生想定箇所を避けることが出来るため、被害の低減に極めて有効な手段と考えている。土砂災害・洪水ハザードマップ作成に地震情報もご指摘のとおり、掲載したいと考えている。

地震おける市街地の危性を公表、周知することにより、皆様に建築物の耐震不燃化、避難場所、防災拠点の確認等に取り組んでいただくことで防災村づくりの一層の推進を図ることもできるものと考えている。

選挙公約の重みについて

村長 = 選挙公約は村民と 交わした約束ごとである



本多啓三議員

質問 首長の選挙に出る者は、有権者に公約をお示しし、有権者はその公約の実現を信じ投票行動をするものである。就任1年半が経過したがいくつかのその公約は実現に向かつて推進されているか。

村長 選挙公約は、選挙を通じて私が村民と交わした約束であり、村政運営上最も重要な事項である。村長の日程の公開などすぐに対応可能なものは実施。進行中のものではおもてなし広場の整備などである。

質問 選挙公約の一番の柱は、競輪の使命は終わった。競輪は場外売場に特化し弥彦山の木を切つてバイオマス発電所を建設、売電によって村財政の強化を図るとして選挙戦を戦った。就任直後の昨年3月議会では、弥彦山、国上山、多宝山、角田山で何とか200〜300kwは可能であり、売電で儲けるつもりはないと答弁。バイオマス発電所を建設、売電による村財政の強化を図ることは選挙戦目当ての公約ではないか。

村長 木質バイオマス発電所については国の役人に相談したところ、まあ何とかやればできるだろうと言つて選挙公約として挙げた。

選挙のための公約ではない。

質問 何とかやればできると言うが、調査結果でも売電可能な数量は出ていない。発電所建設は無理である。

村長 選挙戦で掲げたのは、500kwが一番経済性、採算性が取れるとのことであったが、私の情報不足で弥彦山系では無理とわかり昨年3月議会でトーンダウンした。発電は断念ではなく一時棚上げであり完全撤退ではない。



裁判の行先は・・・

質問 現在係争中であるので、今後の裁判の行先を左右するような質問や答弁は求めない。今までの談合疑惑に係る議会での村長答弁・説明について私の視点で質問する。指名停止については誰の証言をもとにしたのか。

村長 どなたから聞いたかは申し

上げる必要はない。

質問 昨年10月14日議会全員協議会で、小林組に談合の証言をお願いし受託してもらつて2カ月かつたと言明している。

村長 議会での答弁記録があればそのとおりだと思う。

質問 答弁でなくてあなたの方から議会に説明したいと言っている。村長 であればそうであったと思う。

質問 昨年4月、村長は小林組におもてなし広場の工事を企業体を組んでやるように言っている。村長 村内業者から落としていた。だいたいと思いで言った。

質問 これは入札妨害ですよ。刑法第96条の3威力を用いて入札の公正を害すべき行為をした者は2年以下の懲役または250万円以下の罰金に処するとある。

村長 弁護士に確認してる。ただ希望を述べただけであるから法律上問題ないということであった。

質問 係争中の2社は自費で裁判をやっている。村長は自費でやっているわけではなく税金でやっている。1日も早く結審してほしいし、裁判の経緯は議会できちんと説明するよう要望する。



本多隆峰議員

おもてなし広場、 公募業者1者の要因は

村長 = 直売所施設の運営の難しさが影響



おもてなし広場農産物直売所建設地

質問 おもてなし広場の運営業者公募が1社であった。(株)弥彦さややに決定したことであるが、公募条件、公募期間、周知方法等に問題があったのでは。

村長 直売所の整備は、国の平成27年度地域創生加速化交付金を繰り越して活用することから、かなりさしせまった日程の中で、農事組合法人、観光、地元関係者など13名に出席いただき、事業説明会など実施しながら進めてきた。結果的に1社の応募となったが、

直売所施設の運営の難しさ等が影響したものと考える。

質問 (株)弥彦さややは、運営業者として適切であるのか。その判断には、1社では比較資料として不足である。広く村外に公募し、実績のある複数の業者と比較し、決定すべきではないか。

村長 公募の手続きに沿って役場職員で構成する農産物直売所運営事業者選定委員会でプレゼンテーションを受け、(株)弥彦さややが運営することについて不可とする意見はなく、運営事業者として決定した。

見はなく、運営事業者として決定した。

質問 この事業は公設民営方式でやるとのこと。(株)弥彦さややの純利益の10%を弥彦村に納付することである。これまで弥彦グラントホテル跡地への投入額、弥彦で一等地を使用することを考えれば、費用対効果的にも到底納得できる契約ではないが。

村長 この直売所施設整備は、農家所得の向上や観光振興にかかわ

るもので、村が主体となって管理委託するような性格の施設であるところ、民間の事業として運営する。(株)弥彦さややの提案は、農家への手数料を低く抑え、純利益は生産者への利益還元、補修、新商品開発等を基本的考え方として契約されており、その中で村への納付率は適正なものと判断した。

質問 おもてなし広場整備の完成まで、数年を要し資金もかかる。近隣の直売所も増えている中で、この場所での直売所建設は妥当であるのか、また、この施設は弥彦村にどのような財政的貢献ができるか。

村長 観光振興のため、弥彦神社から弥彦駅にかけての地域において、人の流れやにぎわいをつくりていくことが重要である。その核として、おもてなし広場の整備は必須であると考えます。

直売所は、平成27年度補正予算で地方創生加速化交付金できたことで、早急な対応として事業採択実施にこぎつけたところである。

ヤホールの利用活用について

村長 = 観光振興のため有効活用を図りたい



赤川 幸子 議員

質問 ヤホールは平成25年4月桜まつりで盛大にオープンした。ヤホールは駅から近く、弥彦公園もあり、憩いの場となった。NPO 弥彦観光が施設委託を受け、イベントや喫茶を開店し、コミュニケーションの場として活用した。25年度は約5万人、26年度は約11万1000人の来場があった。しかし、村長は26年度末で契約更新せずストップした。この一年半は、イベント以外は閑散としていた。村民から「もったいない、もっ



JR弥彦線開通100周年記念で賑わったヤホール前

た。喫茶はヤホール周辺で営業していたらと今でも思っている。村民の生命、財産を守ることが重要な責務であり、ヤホールは多目的避難所であり、その目的に反しない範囲で、弥彦神社と協議しながら、観光振興のため有効活用を図っていききたい。

質問 今、観光案内所の職員が鍵の開け閉めと特にたばこ、犬の糞空カン等ゴミの後始末、忙しい時は大変である。施設管理人をおき、喫茶店や地

たいない」との声を多く聞く。村長は昨年3月定例会でヤホールは避難場所なので、もう一度契約内容を精査して使い道を考えたいとのことだったが、結果はどうだったのか。また、今後ヤホールをどのようにに活用するの

か。

村長 現在観光客の休憩所として利用してもらい、観光振興のイベント会場に利用している。27年5月にNPOと契約を更新しなかつ

域の方がヤホールを使いやすいようにできないか。

村長 営利目的でない限り自由に使っていたらいいと思う。喫茶については申し訳ないが賃料をいただくし、補助金は出さない。

自分の採算で行っていただく。ゴミはできるだけそいうことのないよう努めていきたいと思う。できるだけ使い勝手のいい方向でやっていきたいと思うが、全体的な契約の中で管理人を置くかどうかということを検討させていただきたいと思う。

8月臨時会 8月30日

旧やひこ観光ホテル解体工事請負契約の締結について
採決の結果「否決」

10月臨時会 10月6日

専決処分の報告について
新潟県市町村総合事務組合規約の変更について
採決の結果「可決」
旧やひこ観光ホテル解体工事請負契約の締結について
採決の結果「可決」



板倉 恵一 議員

弥彦村の地域包括ケアシステムと 高齢者問題について

村長 = 地域の助け合いが重要である



地域包括ケアシステムに向けた地域会議

質問 弥彦村は、平成27年に作成した高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画が出された。

内容は住民・事業者等と連携協力して、高齢者の地域生活を支える「地域包括システム」の構築を目指し推進すると明記してある。かつて行政は公共サービスの提供者であり、住民はサービスの利用者であった。しかし今は、行政と住民は公共問題を解決していく良きパートナーと考える。実情を直視し、どう行動を起こすかである。

国のシステムもピラミッド型から、地方から国へ要望する地方分

権制度に変遷し、それぞれの地方で考え、良い施策なら補助金の対象になる制度に変わった。

弥彦村では、昨年から役場・福祉保健課が「10年後の弥彦村を考えよう」とした取り組みが進められている。弥彦地区は8月開催で3回目を行なったが、村全体としてこれからどう地域包括ケアシステムに結び付けていくのか。

村長 第6期計画の中で、団塊の世代が75歳以上となる平成37年へ向け、高齢者が住みなれた地域で自立した生活を送り、各種生活支援サービスが切れ目なく提供出来るように取り組みを進めている。

昨年度から取り組んだ地域会議では、地域の困り事や、地域課題の解決に向け、知恵を出し合っていたら。

今年度は、麓・矢作地区でも初めて地域会議を開いた。各分野で出された課題を、村全体で解決策を決定する地域包括ケア推進会議を今年度中に開催し、介護保険検討委員会へ政策提言し、地域包括ケアシステムにつなげたい。

質問 弥彦村の75歳以上は、平成35年になると3人に1人、32・1%になると予想される中、現在の

介護システム上の、要介護1・2の方はほとんど在宅で面倒を見なければ成らない。行政としてどう進めるのか。

村長 平成37年問題は弥彦村にとって大問題である。しかも地域包括ケアシステムが法律として施行されるが、弥彦村はまだ準備が進んでいない。

住民の要望を聞いている段階である。地域包括ケアシステムとは、周りの人が助け合いを行なうシステムである。

質問 村では認知症予防のためにポイント制の導入をするようだが遊び心を入れ、見える化をし、予防と楽しみを付加し、併せて6月の議会でも質問した。医者・区長・民生委員等からなる組織を作らないと機能しないと考える。

福祉保健課長 そのとおりである。今後検討する。

常任委員会・競輪特別委員会 合同研修視察報告

10月3日から5日、日本競輪学校、伊豆ペロドローム、長野県青木村を視察しました。

日本競輪学校では、JKAの谷澤担当理事、瀧澤校長、担当職員から競輪事業の現状や生徒の指導・育成について説明を受けた後、校内の施設、現場での訓練を見学しました。

プロ選手として、また、2020年の東京オリンピック出場を目指して、厳しい練習に明け暮れる生徒たちの懸命な姿を目の当たりにし、再び競輪が注目され、まだまだ希望がもてる事業であることを実感させられた研修となりました。



日本競輪学校成績上位5名の112回生徒（女子6期生）

ペロドロームは、

日本初の木製板張り走路の屋内型自転車競技場で、2020年の東京オリンピックの会場となる施設です。

オリンピック開催に向けて観客席の増設が、課題のことでした。

青木村は、本村と災害時相互援助協定を締結した村です。「第4回日本住みたい田舎」ランキングで、村部門1位となったことでも有名です。北村村長から定住・移住支援事業等の説明を受け、空き家バンク、子育て支援等は本村の人口減少対策に参考となりました。



青木村での研修

あとがき

議員全員で視察研修に出かけた。伊豆半島の山中にある日本競輪学校で競輪選手を養成する学校である。高等学校卒業と同等以上の学力を有し入学試験に合格すると入学が許される。

男子だけであったが、平成23年から女子も入学が出来るようになった。朝、6時30分の起床に始まり、午前中は学科授業、午後は自転車訓練、午後10時までは消灯時間まで分刻みの1年間である。

当日は雨であったが、女子生徒5人がバンクの周回練習中であった。練習終了後、女子生徒との会話ができ、選手になり東京オリンピックに出場したい等夢を語ってくれ、楽しい交流のひとつを過ごした。卒業した生徒たちが弥彦のバンクを出走する姿を想像して楽しみに施設を後にした。

(K)

発行責任者 武石雅之
編集委員会 本多隆峰 柏木文男
田中満男 板倉恵一
印刷所 弥彦村 イナバ印刷